

ビワ生育情報

第 7 報
千葉県農林水産部
令和 6 年 4 月号

4月1日時点での幼果の発育は「楠」、「大房」、「田中」とも平年より早く、収穫期は平年より早いと予想されます。

果実の発育

4月1日現在のビワの果径を表1に示した。横径は「楠」が2.09cm、「大房」、「田中」は3地区の平均でそれぞれ1.97cm、1.89cmであった。平年と比較すると「楠」は130%、「大房」は124%、「田中」は120%であった。

縦径は「楠」が2.49cm、「大房」、「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.27cm、2.38cmであった。平年と比較すると「楠」は124%で、「大房」は114%、「田中」は118%であった。

果形指数は「楠」が0.84、「大房」、「田中」は3地区の平均でそれぞれ0.87、0.80であった。本年の果形指数は「楠」、「大房」は平年よりやや高く、「田中」は平年並みである。

果実の発育は、3品種とも暖地園芸研究所及び現地圃場(青木、南無谷)で早く推移している。今後の気象にも影響されるが、収穫期は平年より早いと予想される(各品種における平年値(平成5年～令和4年)は前年の7月号を参照)。

表1 果実の発育(4月1日の果径)

品種	調査地点	横径 (cm)			縦径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	2.09	1.61	1.75	2.49	2.01	2.19	0.84	0.80	0.80
	青木	1.87	1.60	1.90	2.19	1.99	2.31	0.85	0.80	0.82
	南無谷	2.09	1.66	2.04	2.41	2.06	2.40	0.87	0.80	0.85
	平均	1.97	1.59	1.93	2.27	1.98	2.28	0.87	0.80	0.84
大房	暖地園研	1.95	1.54	1.84	2.19	1.94	2.14	0.89	0.79	0.86
	青木	1.85	1.59	1.76	2.32	2.00	2.26	0.80	0.79	0.78
	南無谷	1.76	1.62	1.91	2.23	2.09	2.44	0.79	0.77	0.78
	平均	1.89	1.58	1.85	2.38	2.01	2.36	0.80	0.79	0.78
田中	暖地園研	2.06	1.56	1.87	2.59	2.00	2.37	0.80	0.78	0.79
	青木	1.85	1.59	1.76	2.32	2.00	2.26	0.80	0.79	0.78
	南無谷	1.76	1.62	1.91	2.23	2.09	2.44	0.79	0.77	0.78
	平均	1.89	1.58	1.85	2.38	2.01	2.36	0.80	0.79	0.78

果形指数：横径／縦径

平年：平成6年～令和5年の30年間の平均

南無谷は平成10年～令和5年の26年間の平均

令和6年3月の気象

令和6年3月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第3、第4、第6半旬は平年より高く、第1半旬は平年並み、第2、第5半旬は平年より低かった。月平均気温は10.4℃で、平年より0.3℃高く、前年より2.8℃低かった。

月最低極温は第2半旬の-0.7℃で、氷点下日数は3日であった。

降水量は第1～第3、第6半旬は平年より多く、第4、第5半旬は平年より少なかった。月合計は259mmで平年の167%、前年の175%であった。

日照時間は第2～第4半旬、第6半旬は平年より多く、第1、第5半旬は平年より少なかった。月合計は185時間で平年の111%、前年の109%であった。

表2 令和6年3月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			氷点下日数 (日)			最低極温 (°C)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	8.8	8.6	11.1	0	0.5	0	0.0	0.7	1.9
2	6.8	9.2	13.3	1	0.6	0	-0.7	1.0	3.6
3	10.6	9.7	12.4	1	0.5	0	-0.6	0.4	4.3
4	12.0	10.4	12.8	0	0.1	0	4.8	2.3	6.2
5	9.2	10.9	16.3	1	0.2	0	-0.5	2.4	10.6
6	14.9	11.6	13.4	0	0.2	0	6.6	2.7	8.3
平均/計/最小値	10.4	10.1	13.2	3	2.1	0	-0.7	0.4	1.9

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	52.5	25	11	23	26	23
2	35.0	24	1	31	27	47
3	58.5	22	7	42	28	34
4	0.5	23	40	31	27	32
5	21.5	27	57	23	27	15
6	90.5	33	33	36	33	18
計	259	155	148	185	167	170

平 年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは3月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

5月の作業

収穫前にモノレールや索道、道路を整備するとともに園内の草を払っておき、収穫道具や出荷用資材を揃えておく。1樹の収穫は2～3回に分けて収穫適期の果実を収穫するが、特に1回目の収穫では未熟果が混入しないように果皮色をよく確認して収穫する。

果樹カメムシ類の予想発生量は多いとされている（令和5年度病害虫発生予報第11号（令和6年3月13日））。例年果樹カメムシ類の被害が少ないほ場でも被害が多発する可能性があるため、飛来量が増える4月下旬以降に園内外をよく見回り、飛来がみられた場合には、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従って防除を行う。

台木の養成

ビワの苗木は、生産しているところが少ないので、自家生産に取り組む。収穫した果実から種子を採り、種まきして、台木用の実生苗を確保しておく。「楠」の実生は、は種後の生長が早く、根張りが良いので、台木に適している。接ぎ木を行う場合は2、3年間養成して、幹が直径1.5cm程度の太さになった台木を用いる。実生苗は、降雨によってごま色斑点病が伝搬して多発し、枯死することがあるので、雨よけ施設で管理する。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所特産果樹研究室

電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>